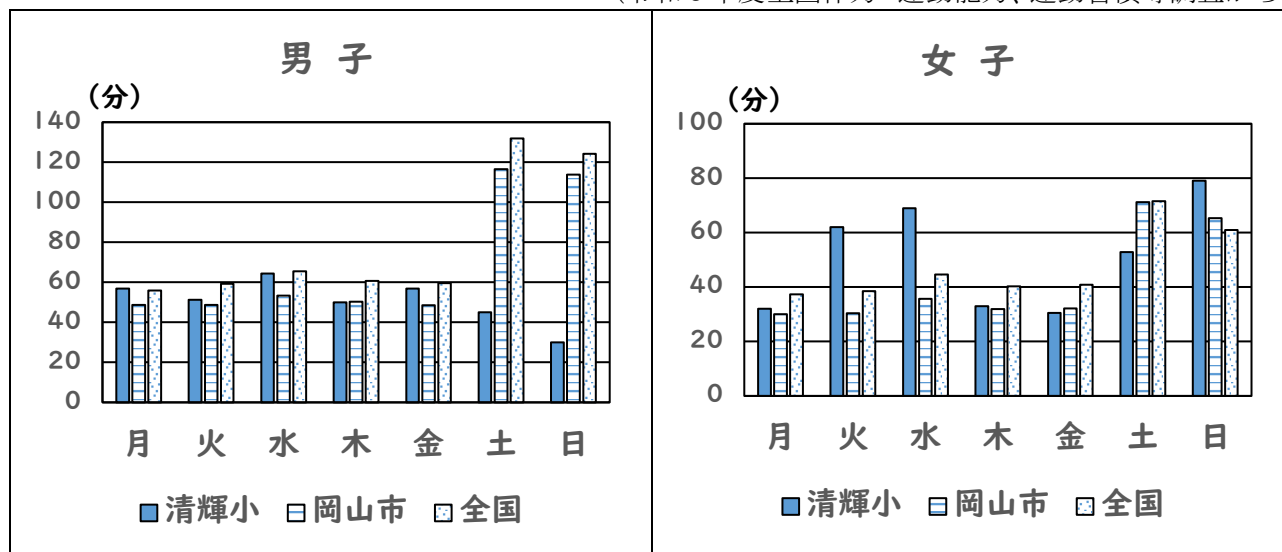


年間を通した「健康習慣定着化」の取組

学校名	岡山市立清輝小学校		校長名	余公 俊晴	
児童生徒数	1 1 1 人	学級数	9	教職員数	2 8 人

< 体育の授業以外の運動やスポーツの時間（曜日別） >

（令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査から）



1 児童生徒の実態

本校の児童は、新体力テストの結果を見ると、ほぼ市の平均と同じ水準になっているが、全国の平均と比べると数値が低い。また、上記の調査結果を見ると、平日の運動時間は平均よりやや多いものの、特に男子において、土日の運動時間が少ない。

清輝小学校は、運動に関する習い事をしている児童が他の小学校に比べ少ない傾向にある。しかし、休み時間には進んで外で遊ぶ児童が多く、体育の授業においても意欲的に取り組む児童が多い。

2 取組の概要

具体的な取組として、「運動だんご」、「学校ピース」、「家ピース」といった、運動や健康について児童や家庭に励行する週を、年間を通して設定した。

「運動だんご」は、年間7週間、

「学校ピース」は、年間6週間、

「家ピース」は、年間7週間と、合計20週に渡って取り組んだ。これらは、基本的に健康委員会の児童が中心となって進めていった。

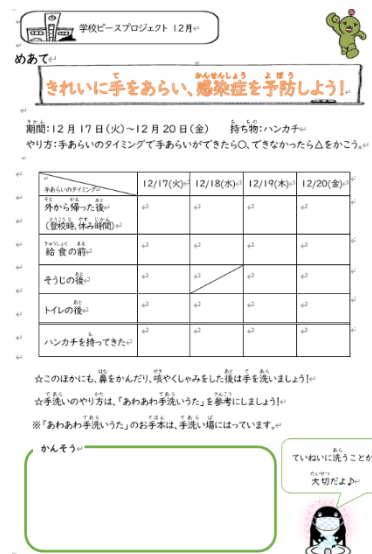
「運動だんご」は、委員会の児童がテーマに合った運動を考えて動画で紹介し、業間休み等に集まった児童（全校の8～9割）と共に、運動に取り組んだ。

「学校ピース」は、「あいさつ」や「手洗い・うがい」等を励行する週に向けて、委員会の児童が、紙芝居やTV放送で紹介し、一週間の頑張りカードに取り組んだ。

「家ピース」は、「メディアとの向き合い方」や「早寝・早起き」等を家庭にも呼びかけ、お家の方の協力も仰ぎながら、一週間の頑張りカードに取り組むといったものである。



【運動だんごの頑張りカード】



【学校ピースの頑張りカード】

3 成果

学校としての大きな成果として、年間20週に渡り長い期間をかけて「健康習慣」の定着化を目指した取組を積み重ねたことで、より多くの児童への意識付けができたと感じている。

特に、「令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」のアンケート調査において、一週間の総運動時間が0分はもちろん、0～59分の児童も一人もいないという驚くべき結果だった。

また、今年度行った取組は、今まで何年かに渡り、積み上げてきたことであるので、それが形になって表れていることと言える。具体的には、新体力テストにおいて、市平均を上回る水準に底上げができている。



【中庭で運動だんごをしている様子】



【健康委員会の児童による運動だんごの紹介】

4 課題・今後の取組に向けて

多くの児童が参加したり、運動の大切さに気付くことができたりした一方で、運動が苦手な児童や、その必要性を感じることができにくい児童もいる。

今後に向けて、今まで積み重ねてきた取組の良さを継承しながらも、児童がより主体的になって、学校単位で持続可能な取組を考えていくことや、よりよい運動習慣の定着や体力向上につながる活動を工夫していくことが大切だと考える。